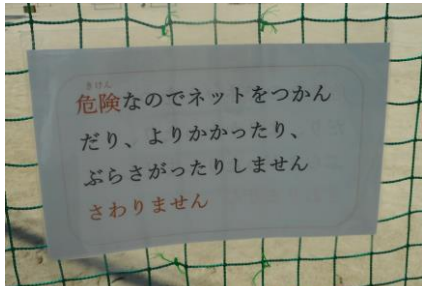


凌雲台

ふるさとに笑顔広げる 龍野っ子
～笑顔 元気 感謝 安全～

龍野小学校学校便り
第14号
令和3年5月31日
文責：校長 大江律子

「いつもありがとうございます」～周りを見て感謝できる子に～



宮城県での小学生の事故を受け、中原先生がすぐに注意書きを掲示してくださいました。龍野小学校の職員は、児童の安全を第一に考えて、取り組んでいます。

先日、ホームページに紹介しましたが、子どもたちが安全に生活できるように、職員が校内の環境美化に取り組んでいます。事務職員の中原先生は、雨上がりにブランコや鉄棒の下にできた水たまりに土を入れたり、壊れた箇所の修理をしたりしています。また、学校主事の松岡先生と一緒に校内の草刈りなども取り組んでいます。雨の合間を見ながら、外回りの作業を行っています。今、二人で学校周りの使わなくなった用水路に土を入れるなど、必要な環境整備に取り組んでいるところです。先週、中原先生がいつものように作業をしていたときのことで。中学年ぐらいの女の子が、「先生、いつもありがとうございます。」とお礼を言ってくれたとのこと。先生方の姿を見て、自分でお礼を言った子どもの話を聞き、とても嬉しくなりました。もしかしたらホームページを見てご家庭でお話をされたのかもしれませんが。先生の姿を見て自分で気付いて考えたのかもしれませんが。

「ありがとう」を言われて嫌な気持ちに人はいません。「ありがとう」は、互いの心を温かくする潤滑油でもあると思います。龍野小学校の4つの合い言葉は、「笑顔」「元気」「感謝」「安全」です。子どもたちが「安全」に過ごせるように取り組んでいる中原先生に「感謝」の心を伝えた龍野っ子。本当にステキな姿です。「感謝する心をもった龍野っ子」、学校と家庭で育てていけたらと思っています。

周りを見て、感謝できる龍野っ子、ほんとうにありがとう！

タブレット(i-pad)で友達の考えを話し合っています

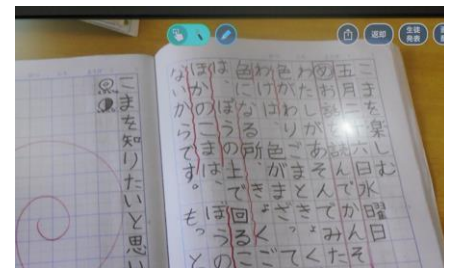
今、授業の中でタブレットを活用した授業に取り組んでいます。

3年生では、国語の説明文「こまを楽しもう」の学習で、互いが考えた意見をロイロノートに提出し、友達の書いた考えを自分のタブレットで見ながら話し合いをしていました。「〇〇さんは、比べて書いているところがいいと思います。」「〇〇さんは、わけは～です、と書いてあるところがいいです。」など、互いの書いたものを確認しながら授業が進んでいきました。

以前は、事前に印刷してからしかできなかったやり方が、一瞬でできるようになっています。タブレットには、無限の可能性があるなあ・・・とまたまた発見しました。友達の考えのよさをチェックし、学び合う姿が見られた国語の授業でした。



タブレットを使つての発表



互いの書いた文をタブレットで確認

5月の全校朝会で話をした「1秒の心づかい」。トイレのスリッパやくつぱこの靴など、並んでいることが増えました。とても嬉しく思います。1秒の心づかい、いつもありがとう。